

令和元年台風第19号による南沢川流域の水害を踏まえ、
より流域一体となった減災の取り組みを進めていきます。

北上川下流(南沢川流域)では、令和元年台風第19号による甚大な被害を受けました。国・県・市で構成する「北上川下流等大規模氾濫時の減災対策協議会幹事会[南沢川流域]」(本日開催)において、今後関係機関が連携を図りながら流域一体となった防災・減災の取り組みについて、検討を進めていくことになりましたので、お知らせします。

北上川下流(南沢川流域)減災に向けた取り組みの方向性(案)

今後、抜本的な減災対策として、関係機関が連携し、ハード・ソフト対策が一体となった、流域全体における総合的な取り組みを行うことにより、逃げ遅れゼロと被害の最小化を目指します。

- ① 被害の軽減に向けた治水対策の推進
- ② 円滑かつ迅速な避難確保に向けた取組の推進
- ③ 地区・町内会単位での防災体制の構築

※詳細については、別紙をご覧ください。

〈発表記者会〉石巻記者クラブ、古川記者クラブ、宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

問い合わせ先

<北上川下流等大規模氾濫時の減災対策協議会>

事務局



宮城県 土木部 河川課

宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号 電話:022-211-3176(班直通)

はせがわ きよと

河川課 技術副参事兼課長補佐(総括担当) 長谷川 清人



国土交通省 北上川下流河川事務所

宮城県石巻市蛇田字新下沼80 電話:0225-95-0194(代表)

やなば けんいち

防災情報課 建設専門官 築場 賢一 (内線505)

～北上川下流〔南沢川流域〕 減災に向けた取り組みの方向性（案）について～

○ 令和元年台風第19号による甚大な被害を踏まえ、南沢川流域における今後の治水対策の方向性について、関係機関が連携し、より流域一体となったハード整備・ソフト対策を行うことにより、「逃げ遅れゼロ」「洪水被害の最小化」を目指します。

相互に
連携

土地利用や避難体制を意識した事業推進
施設整備計画を踏まえた避難計画等

【ソフト対策】

①被害の軽減に向けた治水対策の推進【ハード整備】

<主な取組メニュー>

河川水位を低下させるための取組

- 堤防決壊箇所を含む河川施設の被災箇所の本格復旧
- 河川整備の加速化
- 河道内の土砂掘削・樹木伐採による洪水流下断面の拡大

②円滑かつ迅速な避難確保に向けた取組の推進

<主な取組メニュー>

- 災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組（観測体制の充実強化）
- 浸水想定区域図の作成
- 防災教育や防災知識の普及に関する取組
- 大規模災害時における迅速な復旧支援の取組等

③地区・町内会単位での防災体制の構築

<主な取組メニュー>

- 町内会版タイムラインの整備・普及
- 危機管理型水位計の活用による地区ごとの避難体制の構築等